

事案名	勝央町の事案（岡山県332）
分類	廃棄・遺棄 現在の状況 その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・証言〔1〕</li> <li>・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について」平成15年10月14日〔2〕</li> <li>・「学校史」平成13年〔3〕</li> </ul>
資料内容概要	<p>熊本陸軍予備士官学校が岡山県の農学校へ疎開してきた際、同時に移動してきた演習用イペリット及びルイサイトが、終戦直後、岡山県勝間田の山中に廃棄されたとする証言がある。</p> <p><b>廃棄・遺棄情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元熊本陸軍予備士官学校学生の証言者として、「米軍が沖縄に来攻した頃、熊本陸軍予備士官学校が岡山県の農学校へ疎開した。その際に演習用のイペリット及びルイサイト各1本（量は半分程度であった）も一緒に移動したが、そこで終戦を迎えたため、当地にて処分することとなった。役場に相談し、水源地等を考慮して、岡山県勝間田の山中に穴を20mほど掘り、その中にドラム缶の口を下にして落とし、上に大量の消毒薬（さらし粉のような形状のもの）を入れた」としている〔1〕。</li> <li>・証言者の証言として、「岡山県勝間田の農学校へは熊本陸軍予備士官学校に保有していたイペリットとルイサイトそれぞれ1/2缶が移動したと思うが量は定かではない。終戦直後、缶の処分のために将校が役場に相談しに行ったが、自分は学生だったので直接接触していないので詳しいことはわからない。廃棄した場所までは、車で約30分くらいだったと思う。地元の間人ではないので、農学校からの方角、距離等詳しいことは分からないが、比較的なだらかな山の中腹のようなところだったと思うがよく覚えていない。予備士官学校の学生約20名が1日ばかりでかなり深い穴を掘り、廃棄した。」としている〔1〕。</li> </ul> <p><b>その他情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和20年7月に、熊本を焼け出されてきた熊本陸軍予備士官学校が高校に疎開してきて校名も津山陸軍予備士官学校と改称し、本部を高校においた〔3〕。</li> </ul> <p><b>現在の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県が勝央町内の2カ所の井戸で行った水質汚濁防止法</li> </ul>

	<p>に基づく水質測定の結果、有害物質は検出されていない。 また2カ所の浄水場では、年1回行われている水道水原水の調査によると、有害物質は検出されていない〔2〕。</p>
--	---